

看護職員の負担軽減及び、 処遇改善の取り組みについて

当院では、看護職員への負担の軽減並びに、処遇の改善を目的とした計画を策定し、これに基づいた下記の内容に取り組んでおります。

- 業務量を調整し、時間外労働が発生しにくい形に努めています。
- 看護補助者の夜間配置並びに、看護補助者への業務移管に努めています。
- 病棟クレーンを配置し、事務業務を移管しています。
- 看護補助者と多職種で業務分担をしています。
(薬剤師、リハビリ療法士、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、
事務職員)
- 妊娠及び子育て中、介護中の職員に向けた、夜勤の削減または免除、休日勤務の制限、配置場所の配慮、育児の為の休業、短時間勤務制度などを実施しています。
- 勤務状況の適正化の為に、超勤時間や夜勤回数の実態把握に努めています。

令和6年6月1日

医療法人慈恵会
慈恵曽根病院
院長 市岡 泰子